



オーストラリア語学研修 Newsletter

2024 MARCH 17- MARCH 26



March 17 Sun. Day 1

春めいた暖かい日曜日の午後、保護者の方々や友人、先生方から見送られ、一行は学校からバスで成田空港に向かいました。成田空港からは JQ 夜便でオーストラリア・ブリスベンに向けていよいよ出発です。



March 18 Mon. Day 2

雲のかなたに朝日が見え始めました。

およそ9時間のフライトを終え、早朝のブリスベン空港に無事に到着しました。空港で私たちを出迎えてくれたのはティーチャーガイドのアダム先生です。

フライトの疲れも若干見られるものの、これから始まる語学研修への期待に心躍らせオーストラリアの地に降り立ちました。



最初の見学地はカランビン・ワイルドライフ自然保護区(Currumbin Wildlife Sanctuary)です。



こちらは、ゴールドコースト最大級の動物保護区で 100 種類以上の動物が自然に近い状態で保護されています。生徒たちはカンガルーやコアラといったオーストラリアの固有種と触れ合うことができ喜んでいるようでした。

ハンバーガーとフレンチフライの昼食を楽しみ、交流校 Parklands Christian College に向け、自然保護区を後にしました。



途中、アダム先生がゴールドコーストの街並みが見えるビーチ沿いを案内してくださいました。目の前に広がる美しい景色に生徒達も感激、大興奮。Parklands Christian College 到着後は、いよいよホストファミリーとご対面です。最初は固い表情の生徒達でしたが、フレンドリーなオージーの明るい笑顔に迎えられ一気に緊張がとけたようでした。





March 19 Tue. Day 3

登校初日の今日は、初めにスクールウェルカムツアーや施設紹介のオリエンテーションがありました。その後、アダム先生の授業へ。アダム先生による英語のレッスンでは、テキストを使用しホストファミリーにオーストラリアのスラングについて尋ねる宿題が出されました。宿題を通してファミリーとの会話をする機会が与えられたため、とても良いきっかけになると思われます。また、実際にこちらで生活するには知っている方が良いものばかりなので、オーストラリア文化を知る上でもたいへん役に立つ内容でした。さらに、オーストラリアの地理や固有種、植生等々についての学習や、ホストファミリーとの交流がより充実したものになるよう、英文をみんなで考え共有するなど、早速帰宅後に生かせる学びになったと思います。



ランチタイムはホストファミリーが用意してくれたお弁当を食べながら日豪のお弁当文化の違いを味わう楽しいひと時に。英語漬けの一日は生徒たちにとって、初めての経験で疲れも見えましたが、「もっと英語を理解したい」「ホストファミリーともっと話せるようになりたい」という前向きな声も聞かれ、頼もしく成長を感じる一日でもありました。





March 20 Wed. Day 4

今日は、現地バディとの初対面の日です。バディが下妻二高生の名前が書かれたカードを持って、生徒たちを迎えにきてくれました。どの学年のバディが来るか、またどの授業に出るかは行くまでわからない、まさにドキドキの瞬間。現地校では基本的にバディと同じ授業に参加し、生徒たちは一緒に英語、歴史、数学、デザイン、体育、道德などの授業に参加しました。



March 21 Thurs. Day 5

授業開始前に、昨日の授業の様子などについて情報交換や感想などを述べ合っていました。やはり、わからない部分や疑問点があるとの声も聞かれましたが、難しい部分もあるのは当然。しかし、そのもどかしさが本人たちの「英語がわかるようになりたい」という気持ちをさらに高めてくれたようでもあり、結果オーライなのかもしれません。宿題の答え合わせやシラブルで英単語を答えるゲームなども取り入れ、楽しく授業は進んでいきました。また、何人かの生徒の声は小さく、何度も聞き返される場面もありましたが、実践的にも学ぶことができていたようでした。





March 22 Fri. Day 6

前回と同じ集合場所で、バディと合流し一日が始まります。その後、バディの授業と一緒に参加しました。休み時間には現地校の生徒と挨拶や会話を交わす場面もあり、バディ以外の知り合いが出来てきているようでした。生徒の中には一緒に写真を撮ったり、メールアドレスを交換したりと、積極的に交流する姿が見られました。



March 23-24 Sat., Sun. Day 7,8

週末は各ホストファミリーと過ごしました。生徒たちはホストファミリーとともにゴールドコーストに出かけたり、ブリスベンの街に買い物に出かけたり、また KittyKat(無料のフェリー)に乗ったりと、それぞれの週末を楽しんでいたようでした。



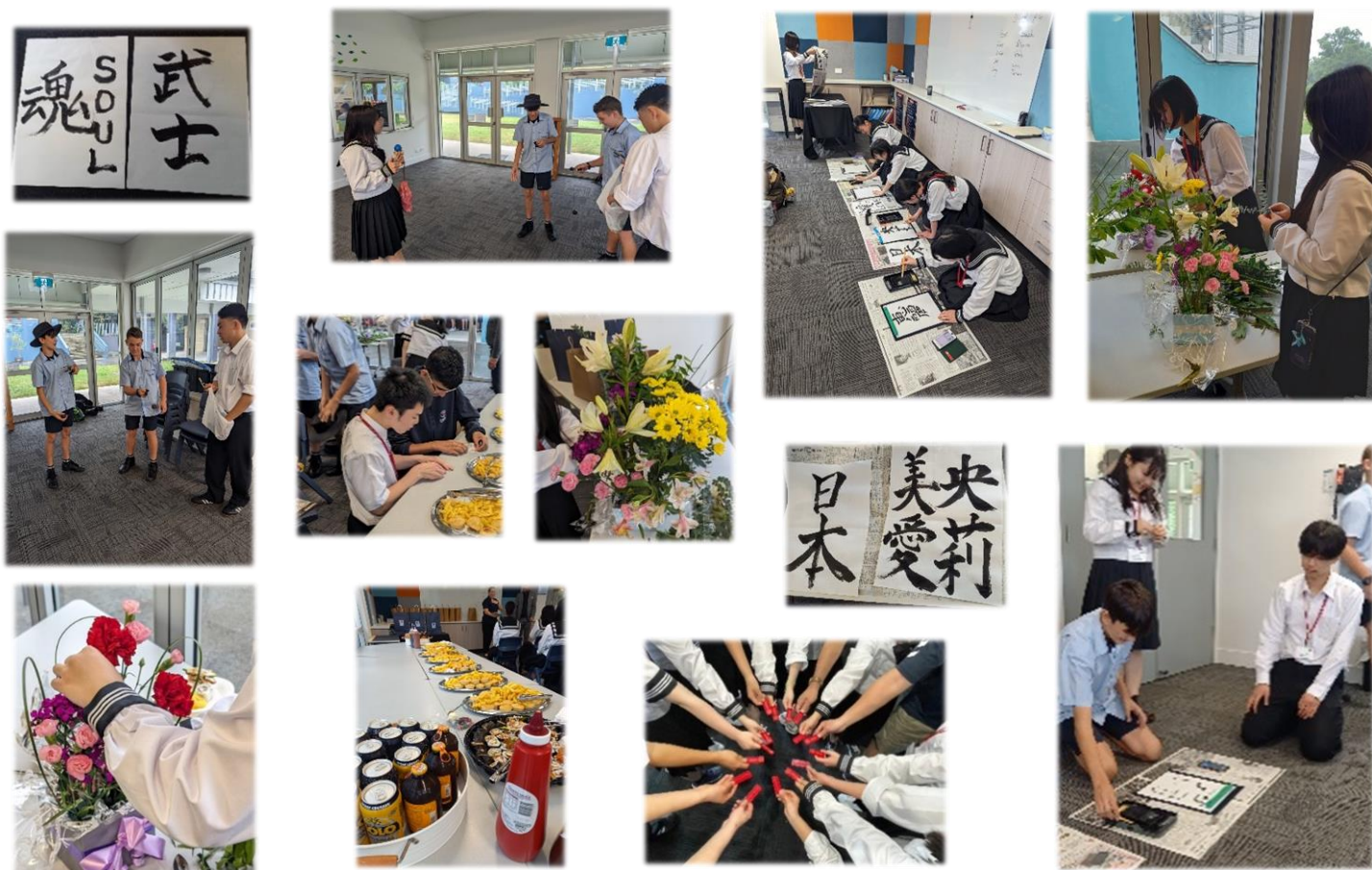
March 25 Mon. Day 9

本日のレッスンは、今までやったことの復習を中心に学習しました。Change chairs if you ate a meat pie yesterday. などの表現を椅子取りゲームの形態で時制を変えながら、様々な練習を行いました。

ランチタイムには研修修了式とさよならパーティーがあり、生徒たちにひとりひとり研修修了書が授与されました。さらに、記念品としてお菓子やコアラのぬいぐるみなどプレゼントされ、サプライズにみんな大喜び。



また、バディや現地の校長先生、先生方などが出席されている中、日本で準備してきた生花、書道、折り紙、けん玉やコマなど、時間の許す限り日本の文化にも触れてもらう機会を作り、お世話になった現地校の皆さんと交流を深めることができました。



March 26 Tue. Day 10

オーストラリア最終日。ホストファミリーとのお別れの日です。ホストファミリーは、生徒たちを本当に温かく迎えてくれました。不安いっぱいの子の気持ちに寄り添い、家族の一員として迎え入れてくれたファミリー、授業を担当してくださったアダム先生、そして学校生活でサポートしてくれたバディをはじめ多くの方々のおかげで、生徒たちは現地での生活にも慣れ、失敗さえも明るく乗り越えてしまう逞しささえも感じられる成長を遂げることができたと思います。ここでの経験は「文化や歴史、日本との違いを違いとして受け入れ、互いを認め合うことがいかに大切であるか」への気づきに繋がったと確信しています。生徒のみなさんは、勇気を出してこの語学研修に参加した自分に自信を持ち、日本での「今」の自分たちにできること、すべきことに目を向け、それぞれの目標に向かって邁進して欲しいと願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様をはじめ、この語学研修の実施にあたりお力添え下さいました多くの方々に感謝申し上げます。

